

★4月から嚥下障害対策チームの**薬剤師**が 変わりました!

今月のテーマ



薬剤師

自己紹介



嚥下チームの薬剤師として、4月から仲間入りした石井です!
まだまだわからないこともあります、嚥下チーム1年生頑張ります!

石井さんに聞いてみました!

嚥下に影響を受ける**薬剤**について

・睡眠薬・抗不安薬

フルニトラゼパム・ニトラゼパム・プロチゾラム、ロラメットなど
傾眠による嚥下障害につながる可能性があります。
特に持ち越し効果による翌朝の誤嚥に注意が必要です。
ベンゾジアゼピン系の薬剤は嚥下関連筋を弛緩させることで
誤嚥の原因となることもあります。

・ドパミン受容体遮断作用を有する薬

(例) 抗精神病薬…セレネース、コントミン、
クエチアピン、オランザピンなど
制吐薬…メクロプラミド

ドパミンの働きを阻害し、サブスタンスPの分泌を減少させること
によって嚥下・咳嗽反射を弱める可能性あり。
錐体外路症状の副作用も問題となることもあります。

・抗コリン作用を有する薬

(例) 抗うつ薬…アナフラニール、トリプタノール など
頻尿・過活動膀胱治療薬…ベシケア、プロピペリンなど
抗ヒスタミン薬…ポララミン、レスタミン、アタラックスPなど
口渇や口腔内乾燥を引き起こす可能性あり。
食塊形成や味覚、口腔内の自浄作用などに影響を与えます。

・シクレスト舌下錠

舌腫脹・喉頭浮腫により、口腔内の運動低下を引き起こし、
嚥下障害につながる可能性があります。

嚥下障害対策チームへの**依頼方法**

嚥下障害対策チームへ依頼したい!



担当医師より口腔外科、耳鼻咽喉科に**他科依頼**を行います

※何れも看護師サイドで事前の**嚥下評価**が必要です



嚥下回診で評価!



編集後記

新年度となりました。当院へのご入職おめでとうございます。
嚥下障害対策チームにも、新しい顔ぶれが入職しました!
石井薬剤師さん、野田歯科衛生士さん、どうぞよろしく願っています。
そして、岩波言語聴覚士さん、お帰りなさい!
今月は、薬剤師特集でした。翌々月は、歯科衛生士特集をします。乞う
ご期待を!
ご入職された先生方に、嚥下障害対策チームへの依頼方法を、再度お
知らせいたします。
窓口は、耳鼻咽喉科と口腔外科です。いずれもできましたら、前日まで
の他科依頼と枠の確保をお願いいたします。耳鼻咽喉科は週2回、口腔
外科は週1回の診察となり、いずれも嚥下内視鏡(VE)を中心とした初期
評価となります。多職種カンファレンスを経て、嚥下障害対策チームとし
ては、リハビリ科・宮城医師の回診と口腔外科・関谷+リハビリ科・海老
原教授の回診をいたします。「誤嚥窒息事故を防止し、不必要な食止め
をなくす」をスローガンに、活動しております。入院中の嚥下の心配事
は嚥下障害対策チームまで、ご相談ください。



栄養治療センター 副部長・嚥下障害対策チーム担当
関谷 秀樹

休載のお知らせ

4コマ漫画を担当してくだりハ科の大坪先生が
4月から山梨の病院へ外向になりました。
今月号の漫画はお休みですが、6月から再開予定です。
離れていても漫画は届く予定なのでどうぞ楽しみにー!

